

衛生学校教官が日本体育大学保健医療学部で講話

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 山一 等空尉）は、6月14日（火）陸上自衛隊衛生学校の教官である小津1等陸尉を招へいし、日本体育大学保健医療学部3年生80名に対し、講義の1コマを利用して職業講話を行なった。今年度は対面授業が実現し、学生との距離感が縮まりお互い表情を確認しながら講話を実施できる環境で、救急救命士を目指している学生達へ熱のこもったプレゼンテーションが行われた。

小津1陸尉は、全国の衛生隊や病院勤務、イラクでの人道復興支援活動への参加等、一貫して衛生職種で勤務し、現在は衛生学校で総括担当教官を務めている。

講話は、市ヶ尾募集案内所の内山所長から陸・海・空の3自衛隊の存在や任務そして、色々な職種があり現在学んでいる多くの内容が衛生科職種で活かすことができ、将来自衛隊で活躍できる場があることを伝えた。

小津1陸尉からは、第1線救護衛生員についての説明があり学生たちが特に真剣に聞き入っていた。令和2年度より救急救命士資格を取得して入隊した場合、勤務しながら自衛隊の准看護学院において准看護師の資格を取得し一定の教育を受けた後、救急救命陸曹として働ける制度が開始され、その概要が紹介された。また、国際平和協力活動などを通して世界で活動できるチャンスがあることも紹介された。質疑応答時間には「今までプレゼンを聞いた中で一番上手でした」と「異動が多いことで苦労したことは何ですか」と等、学生達から様々な質問が投げ掛けられ、小津1陸尉は各質問に丁寧に回答していた。

小津1陸尉からは「ここにいる全員が救急救命士の資格が取得できるよう協力しあってください。救急救命士の世界は狭いので、どこかで会うことがあるでしょう。同じ道を志している大学同期の絆を大切にしたい」とエールが贈られた。

今回の講話をきっかけに自衛隊の衛生科職種に興味を持ってもらい自衛隊職種への理解を深めてもらえたと実感できた。

市ヶ尾募集案内所は、「今後も学校を通じ講話及び説明会を適時実施し、自衛隊への理解を深化させると共に、一人でも多く自衛隊に興味をもってもらえるよう募集基盤の拡大に努めていく。自衛隊の様々な魅力を発信し、引き続き志願者獲得を目指していきたい」としている。



川崎総合科学高校で業種説明会を実施

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城2陸尉）は6月16日（木）川崎市立川崎総合科学高等学校にて、業種説明会を実施した。

説明会には多数の学生が参加し「自衛官は、どんな仕事をしているのか」とについての説明をした。

参加者は、特に陸上自衛隊の普通科職種に興味のある者が多く「普通科に行くには、何が一番必要か?」「レンジャー隊員になりたい」「厳しい環境に身を置いてみたい」などの前向きな発言もあり、一生懸命に話を聞く姿勢から「自衛官になりたい」という強い意思が伝わってきた。

説明をした川崎出張所長の宮城2陸尉も、学生たちの熱意に押され、いつもより熱が入る場面もあり、実りある業種説明会となった。

川崎出張所では「今後も、各学校と積極的に連携し良好な関係を築き、説明会等を実施して自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの入隊者獲得に努めていく」としている。

